

### (3) 集計結果

#### 1) 食品購入時の「栄養成分表示」の確認状況

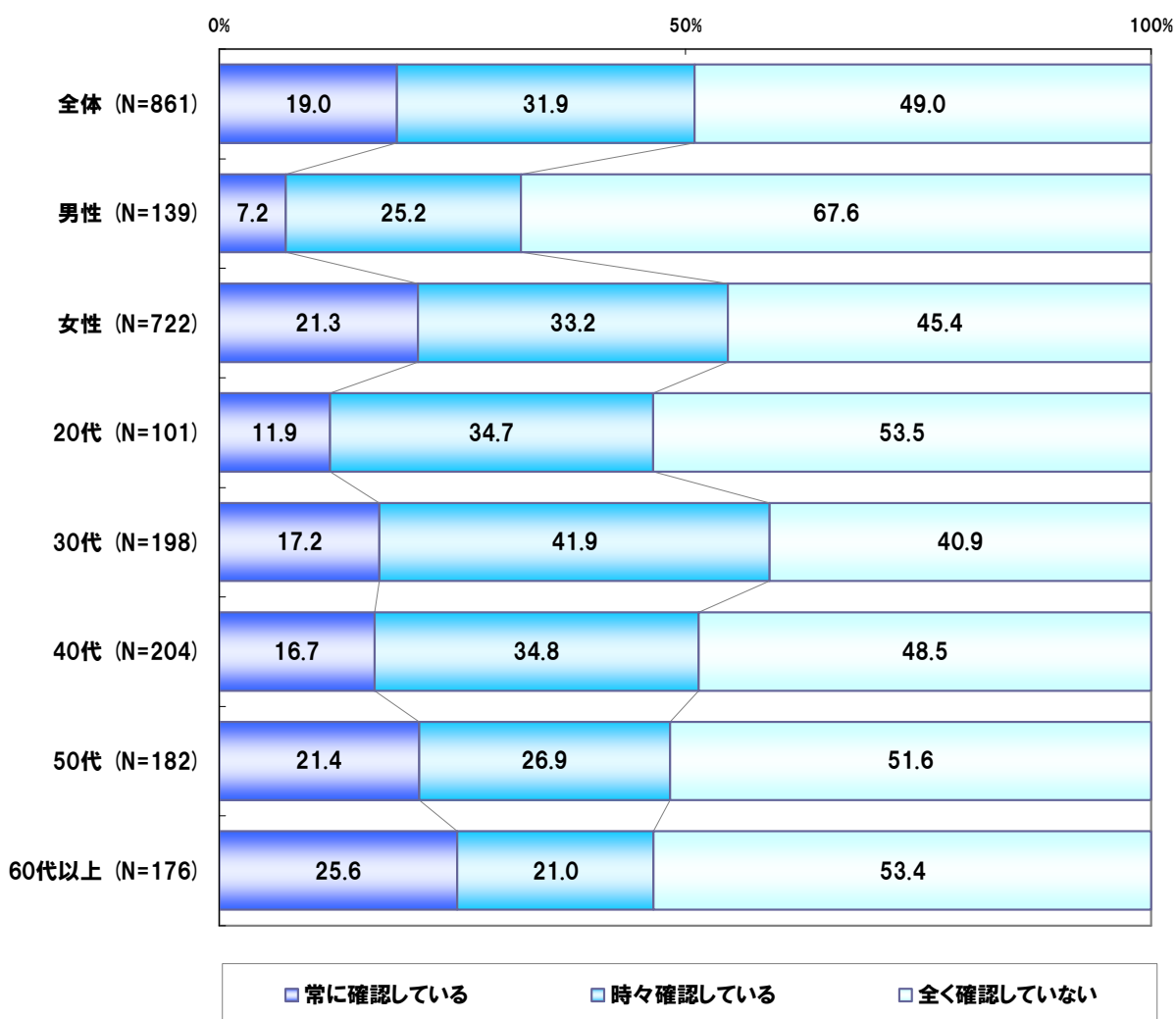
##### ① 普段の栄養成分表示確認有無

問1. あなたは普段、食品を購入する際に、栄養成分表示を確認してから購入していますか。(SA)

■ 食品購入時に栄養成分表示を「常に確認している」者は、全体では19.0%。「時々確認している」31.9%も含めると、「確認することがある」者は51.0%と半数程度である。

■ 栄養成分表示の確認状況を性別で見ると、<男性>では「全く確認していない」が67.6%と<女性>45.4%に比べて高くなっており、栄養成分表示を確認しない者が多い様子が窺える。

■ 年代別で見ると、年代が上がるにつれて「常に確認している」が高くなる傾向が見られるが、<30代以上>の層では、「全く確認していない」も年代と共に高くなっている。

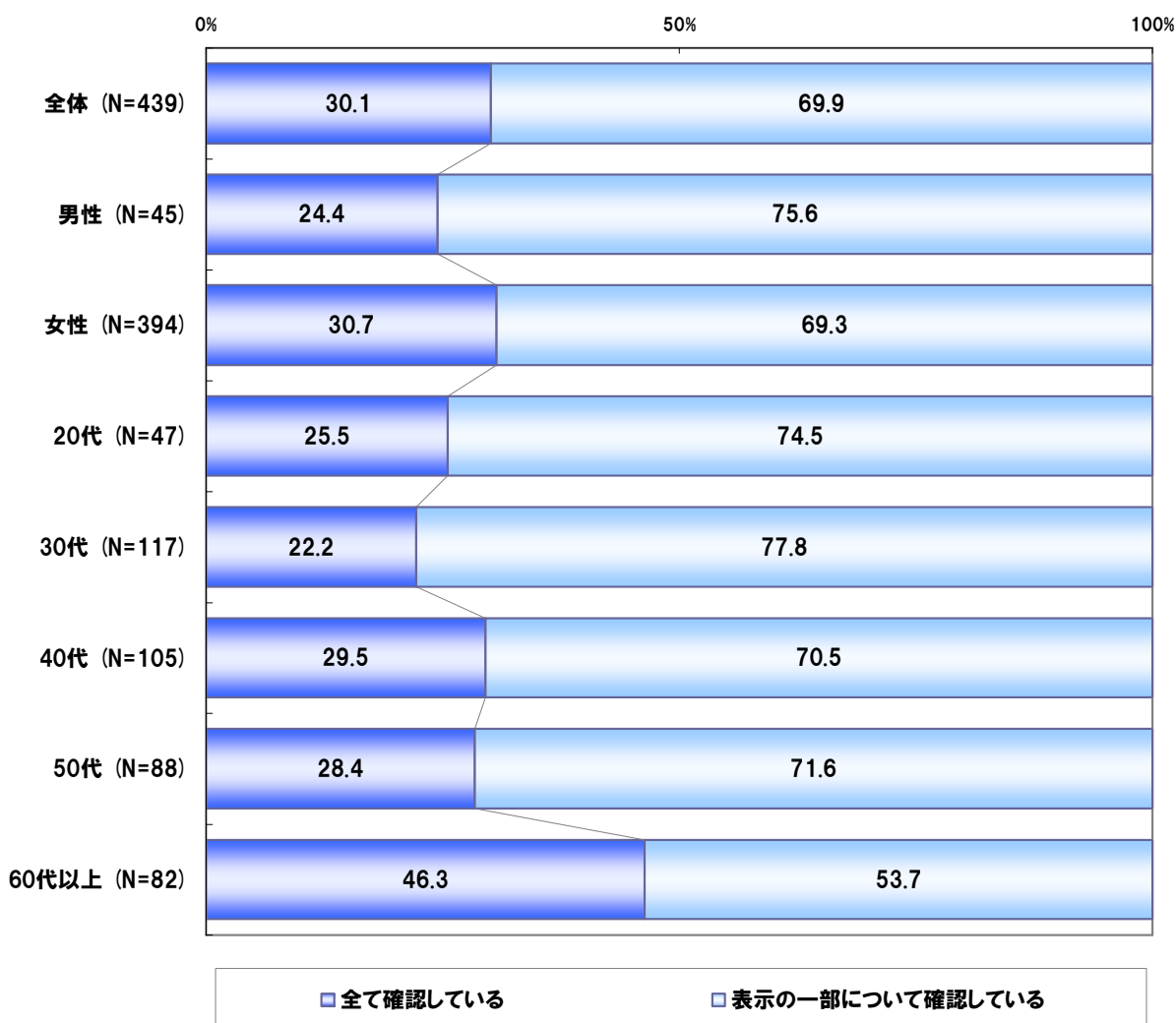


②確認する栄養成分表示の度合い ※栄養成分表示確認者ベース（問1「常に確認している」「時々確認している」回答者）

問1 S Q 1. 購入する食品の、栄養成分表示の内容は、どの程度確認していますか。  
(S A)

■栄養成分表示を確認することがある者では、「全て確認している」が30.1%、「表示の一部について確認している」が69.9%となっている。（栄養成分表示を確認することがある者ベースで集計）

■年代別で見ると、<60代以上>で「全て確認している」46.3%が他の年代に比べて高くなっている。



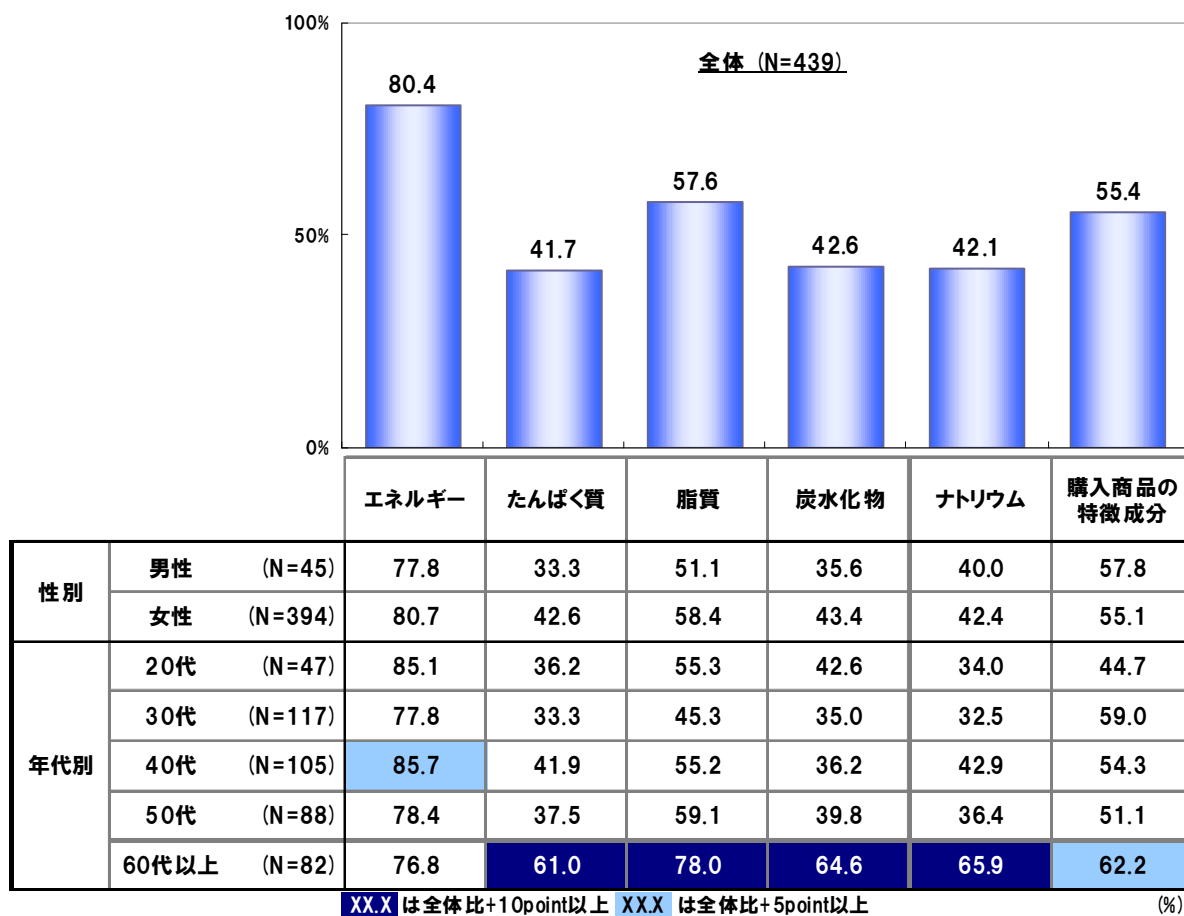
③確認する栄養成分表示内容 ※栄養成分表示確認者ベース（問1「常に確認している」「時々確認している」回答者）

問1 S Q 2. 栄養成分表示の内容のうち、あなたが購入する際に確認するのはどの部分ですか。当てはまるものを全てお選びください。（MA）

■確認する栄養成分表示内容としては、「エネルギー」80.4%が最も高く、次いで「脂質」57.6%、「購入商品の特徴成分」55.4%までが5割以上。「たんぱく質」「炭水化物」「ナトリウム」については、いずれも4割強となっている。（栄養成分表示を確認することがある者ベースで集計）

■性別で見ると、＜女性＞では「たんぱく質」42.6%、「脂質」58.4%、「炭水化物」43.4%が＜男性＞のスコアを5ポイント以上上回っている。

■年代別で見ると、「栄養成分表示を全て確認する」者が多い＜60代以上＞では、「たんぱく質」61.0%、「脂質」78.0%、「炭水化物」64.6%、「ナトリウム」65.9%が他の年代に比べて高い。



## 2) 野菜購入時の重視点

### ①野菜購入時の重視点 (ランキング回答：1位選択率)

問2. あなたが普段、野菜を購入する際には、特に何を重要視していますか。以下に挙げる中から、あなたが重要視している順に、上位3つまで選んで順位をつけてください。(MA)

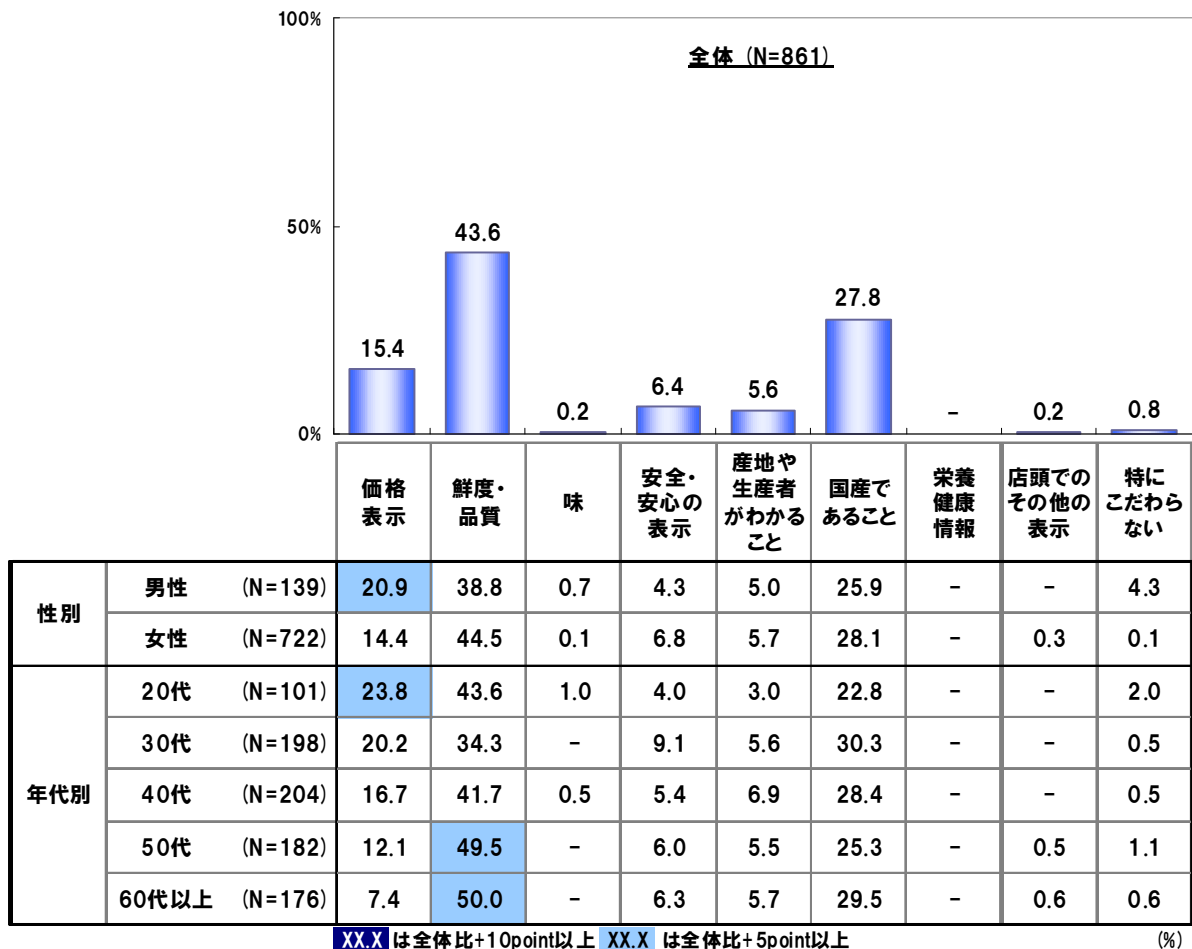
■野菜購入時の重視点として3位以内に選ばれた項目は、「鮮度・品質」86.8%が最も高く、次いで「国産であること」68.3%、「価格表示」50.6%、「安全・安心の表示」36.4%、「産地や生産者がわかること」29.3%と続く。(「栄養健康情報」については、全体では2.0%)

■1位選択率で見ると、3位以内選択率と同様に「鮮度・品質」43.6%、「国産であること」27.8%、「価格表示」15.4%が上位に挙がる。

■性別で見ると、<女性>で「国産であること」70.5%が<男性>56.8%に比べて高くなっている。また、「価格表示」は<男性>56.1%の方が<女性>49.6%よりもやや高くなっている。なお、「栄養健康情報」を挙げた者は<女性>で2.4%見られている。

■年代別で見ると、「国産であること」、「産地や生産者がわかること」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。一方、「価格表示」については、年代が低い層ほど高くなっており、<20代>では「国産であること」のスコアを上回る。

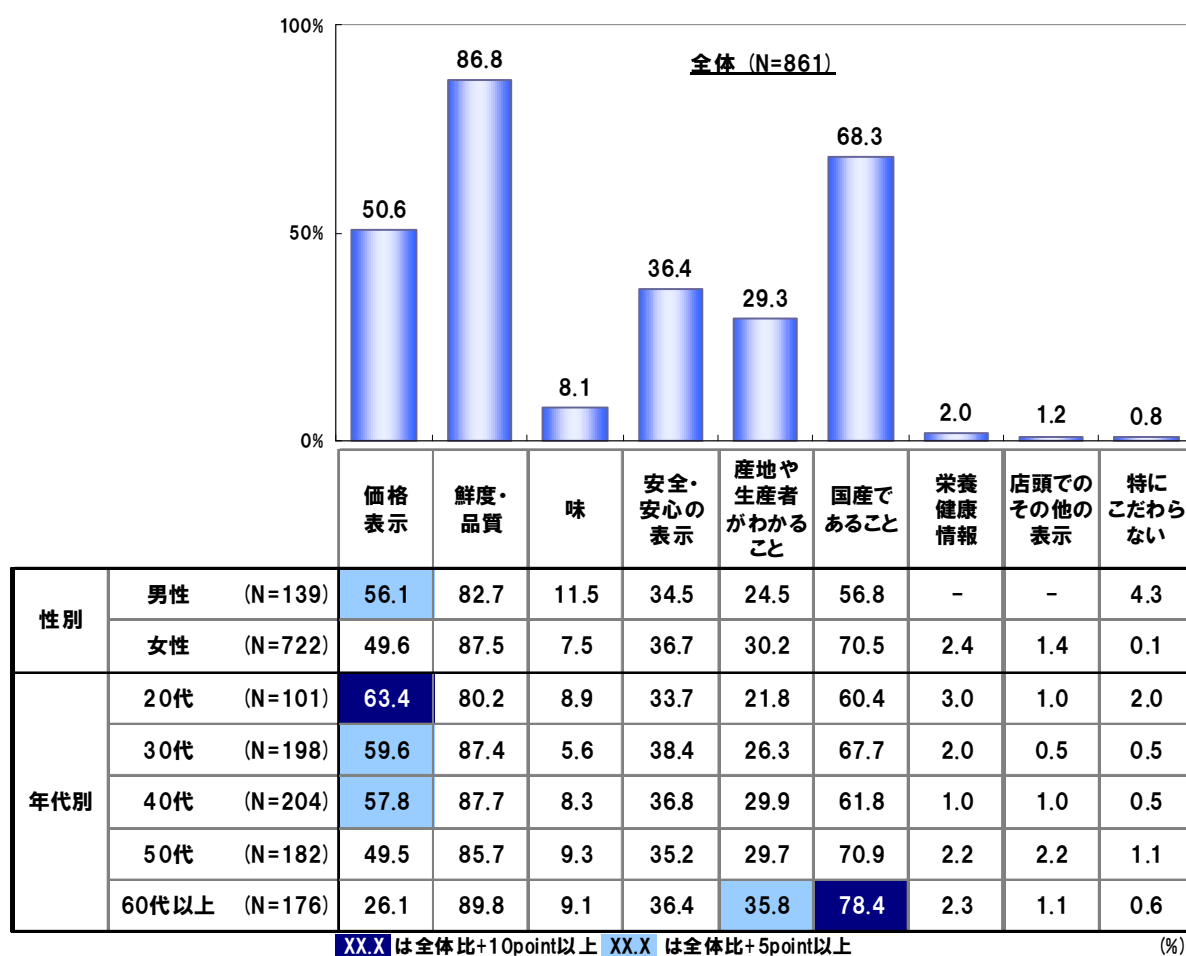
※1~3位計の数値は、次ページを参照



②野菜購入時の重視点（ランキング回答：1～3位選択率計）

問2. あなたが普段、野菜を購入する際には、特に何を重要視していますか。以下に挙げる中から、あなたが重要視している順に、上位3つまで選んで順位をつけてください。（MA）

※分析コメントは、前ページを参照



### 3) ラベル・POP（施策）の接触状況・参考度

#### ①ラベル・POPの接触状況

問3. あなたは、[●●●] のパッケージ（袋）や陳列棚周辺に、栄養成分表示が貼付（又は表示）されていたのを見ましたか。（S A）

■全体では、今回のラベルの接触率（両方+ラベルのみ）は3.7%、POPの接触率（両方+POPのみ）は5.1%となっており、「ラベル・POPの両方もしくはいずれかと接触」した者は7.1%。なお、「ラベル・POP両方と接触」した者は1.7%となっている。

■性別で見ると、<女性>で「ラベルとPOPの両方またはいずれか接触者」が7.9%と、<男性>2.9%に比べて高くなっている。

■野菜の品目別に見ると、<にんじん>では「ラベルとPOPの両方またはいずれか接触者」が11.4%と<ピーマン><ほうれんそう><トマト>に比べると多くなっている。



②ラベル・POPの参考度 ※ラベル・POP 接触者ベース（問3「ラベル・POP 両方見た」「ラベルだけ見た」「POP だけ見た」回答者）

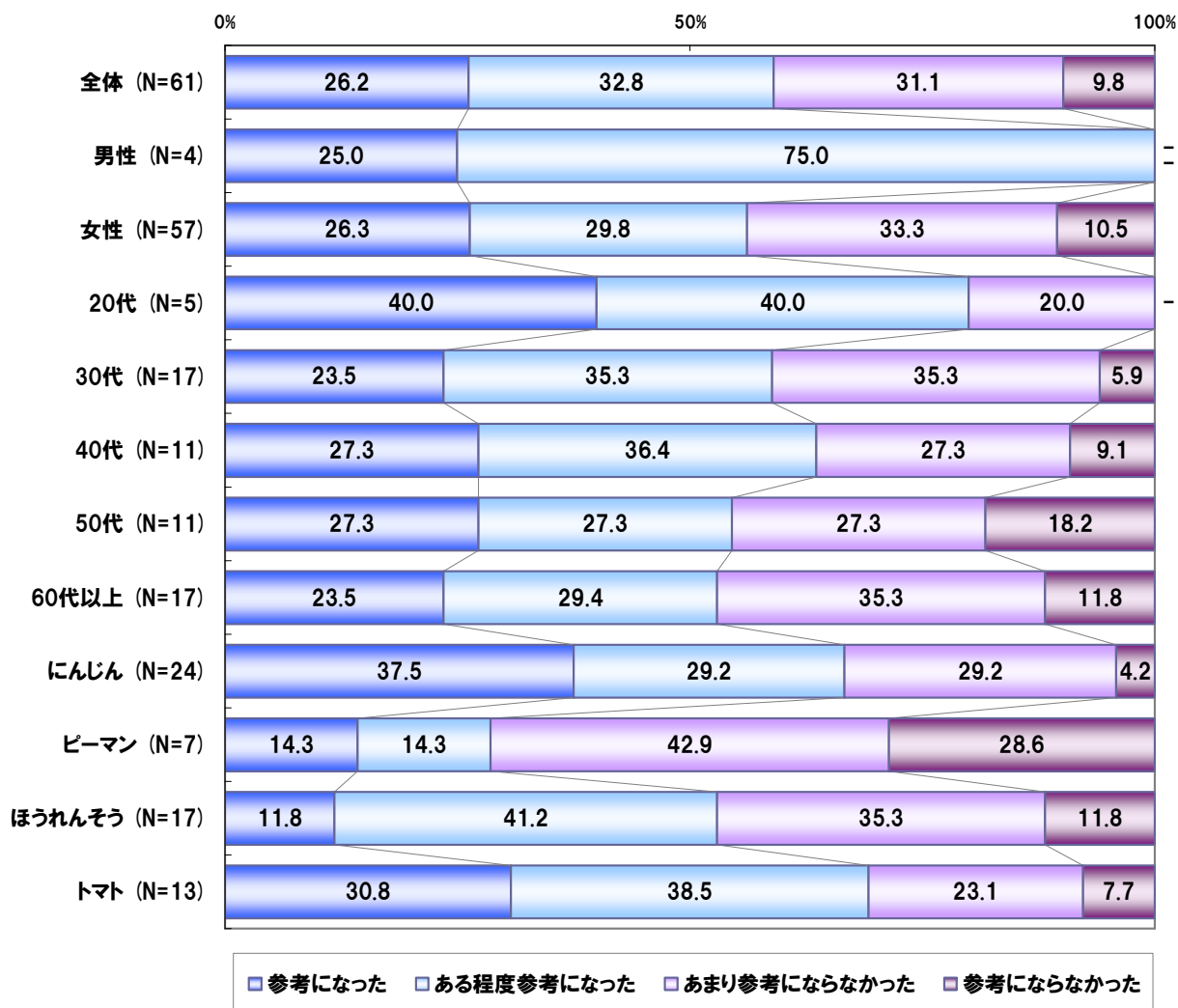
問3 SQ 1. このラベルやPOPは、購入する野菜を選ぶ時の参考になりましたか。  
(SA)

■購入する野菜を選ぶ時に、ラベル・POPが「参考になった」、または「ある程度参考になった」との回答者は、ラベル・POPの両方もしくはいずれかの接触者の59.0%と約6割。

■年代別で見ると、各年代とも「参考になった」、「ある程度参考になった」が半数以上となっている。

■野菜の品目別で見ると、<にんじん>や<トマト>は「参考になった」「ある程度参考になった」を合わせると7割程度で、<ほうれんそう>はそれを下回り約半数。<ピーマン>はさらに下回り約3割となっている。

※属性別のN数に留意



③参考になった度合い ※ラベル・POP 参考者ベース (問 3SQ1 「参考になった」 「ある程度参考になった」 回答者)

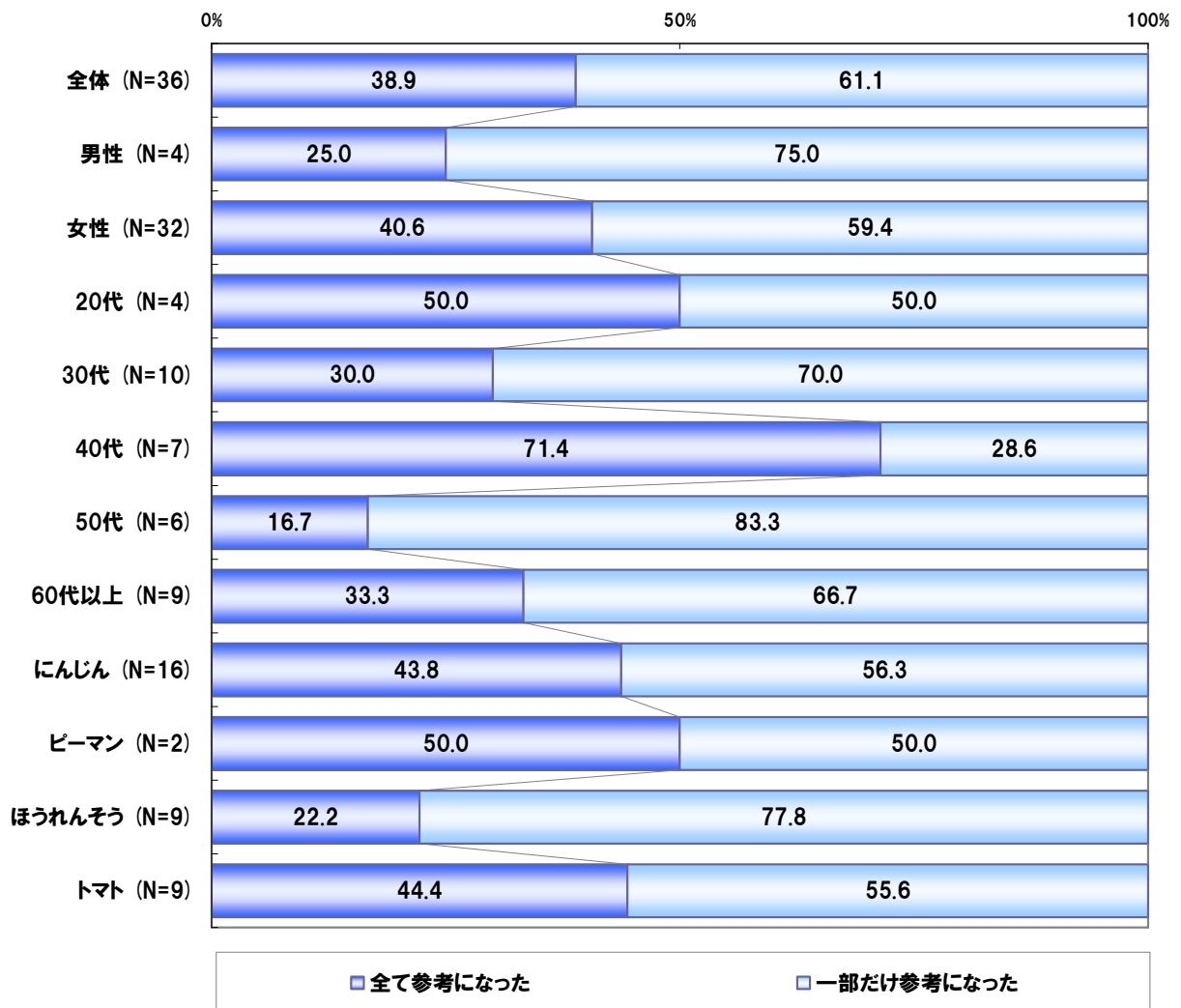
問 3 S Q 2. 参考になった情報は、一部分だけでしょうか。あるいは、全てが参考になりましたか。(S A)

■ラベル・POP が「参考になった」「ある程度参考になった」との回答者においては、「全て参考になった」が 38.9%、「一部だけ参考になった」が 61.1%となっている。

■年代別で見ると、<20代>で4名中2名(50.0%)、<30代>で10名中3名(30.0%)、<40代>で7名中5名(71.4%)、<50代>で6名中1名(16.7%)、<60代以上>で9名中3名(33.3%)が「全て参考になった」と回答している。

■野菜の品目別に見ると、<にんじん>で16人中7名(43.8%)、<ピーマン>2人中1人(50.0%)、<ほうれんそう>9人中2人(22.2%)、<トマト>9人中4人(44.4%)が「全て参考になった」と回答している。

※属性別の N 数に留意







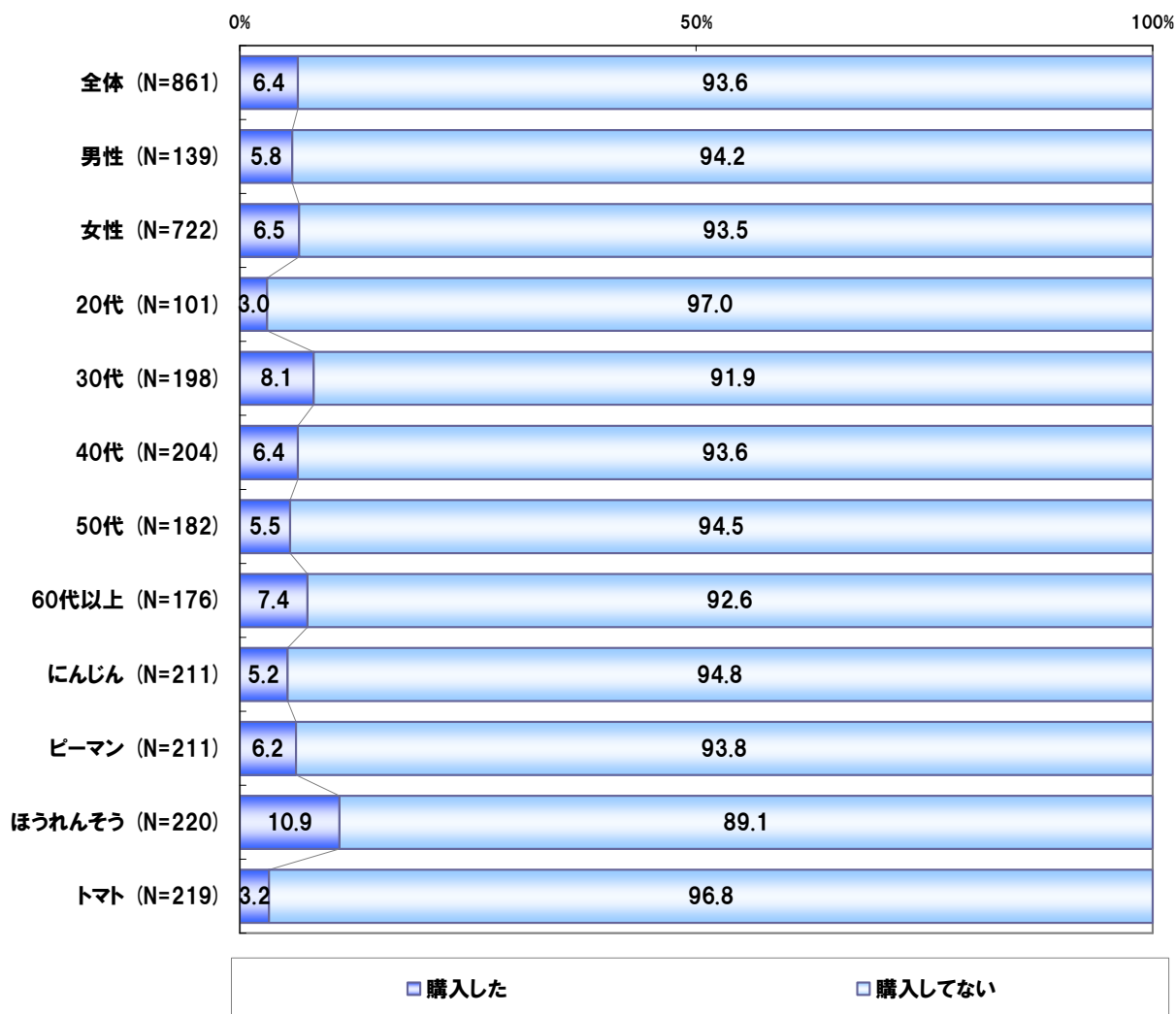
### ⑤ラベル・POP呈示野菜の購入有無

問4. あなたは本日、この栄養成分表示が貼付されていた【●●●】を購入しましたか。  
(S A)

■栄養成分表示ラベルが貼付された野菜を「購入した」者は、全体で6.4%となっている。

■属性別で見ると、<20代>で3.0%と他の年代に比べてやや低いほかは、目立った傾向の違いは見られない。

■野菜の品目別に見ると、<にんじん><ピーマン><トマト>に比べて<ほうれんそう>は「購入した」が10.9%とやや高くなっている。



### ⑥「野菜の栄養成分表示」が購入に与える影響

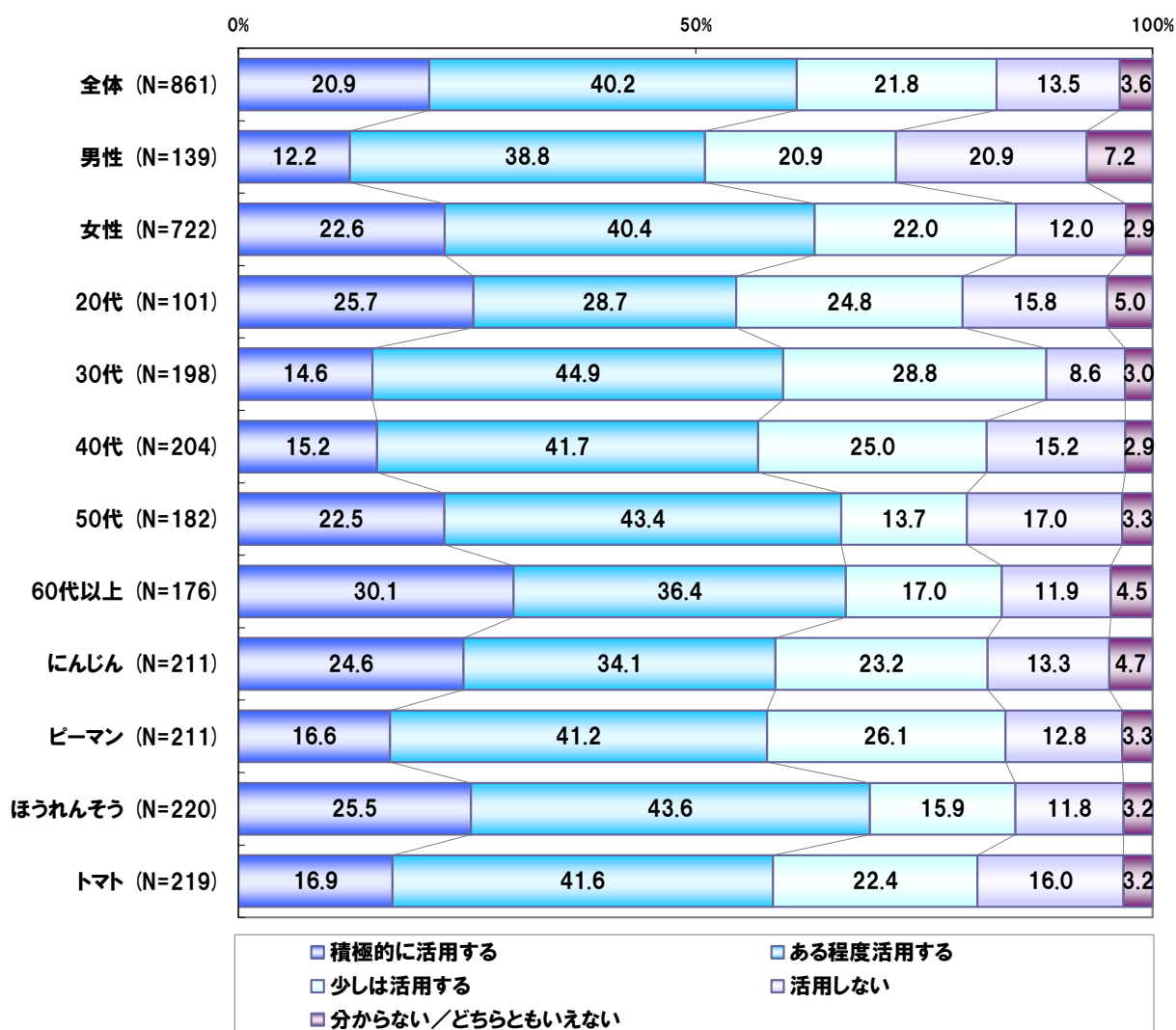
問6. 今後、このように「野菜に栄養成分表示」があった場合、あなたは、購入する時の判断材料に活用しますか。(S A)

■今後の「野菜への栄養成分表示」に対しては、「積極的に活用する」が20.9%。「ある程度活用する」40.2%、「少しは活用する」21.8%も含めると、活用意向者は82.9%と全体の8割強を占めている。

■性別で見ると、<女性>で「積極的+ある程度+少しは」との活用意向者が85.0%と、<男性>71.9%に比べて高くなっている。

■年代別で見ると、「積極的に活用する」は<30代><40代>で15%前後と他の年代に比べてやや低いが、「ある程度」、「少しは」も含めた活用意向者は、いずれの年代とも8割前後となっている。

■野菜の品目別に見ると、「積極的に活用する」は<ほうれんそう>と<にんじん>で25%前後と<トマト><ピーマン>に比べて高くなっているものの、「積極的+ある程度+少しは」での活用意向者の割合は、いずれも8割強と目立った差は見られない。



#### 4) ラベル（施策）のクリエイティブ評価

##### ①ラベル評価【文字の大きさ】

問5. 今回の栄養成分表示をご覧になって、ラベルとPOPについて、何か改善すべきところがありましたら、率直なご意見をお聞かせ下さい。

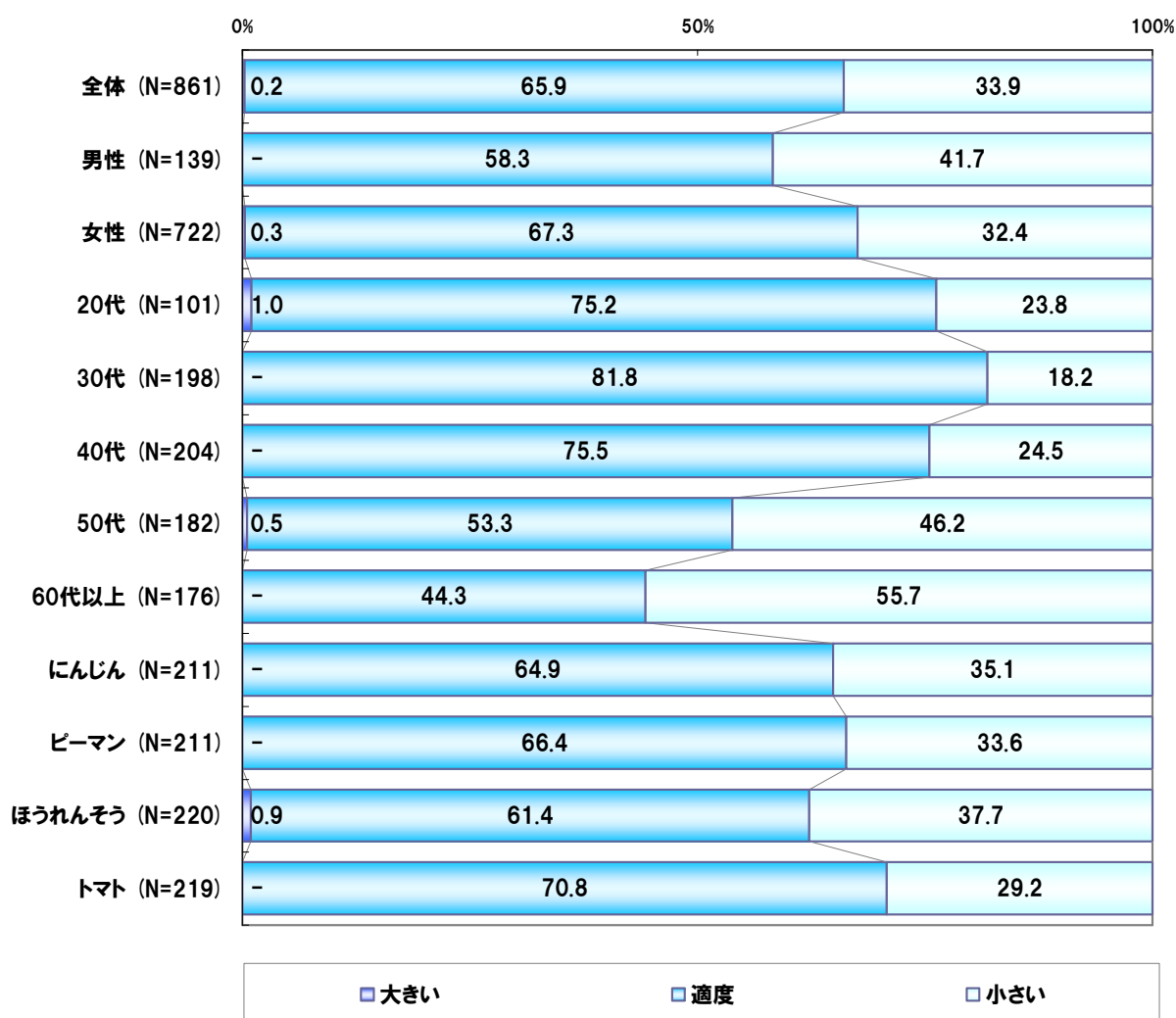
■ラベルの文字の大きさについては、「適度」が65.9%と全体の7割弱。「小さい」との評価は33.9%となっている。

■性別で見ると、＜男性＞で「小さい」41.7%が＜女性＞32.4%に比べて高くなっている。

■年代別で見ると、「小さい」との評価は＜50代＞で46.2%、＜60代以上＞で55.7%と、＜40代以下＞の層に比べて高くなっている。

■野菜の品目別に見ると、＜にんじん＞＜ピーマン＞＜ほうれんそう＞と比べて、＜トマト＞の「適度」70.8%が若干高くなっている。

※但し、商品に貼付された状態で評価したわけではないので、注意が必要。



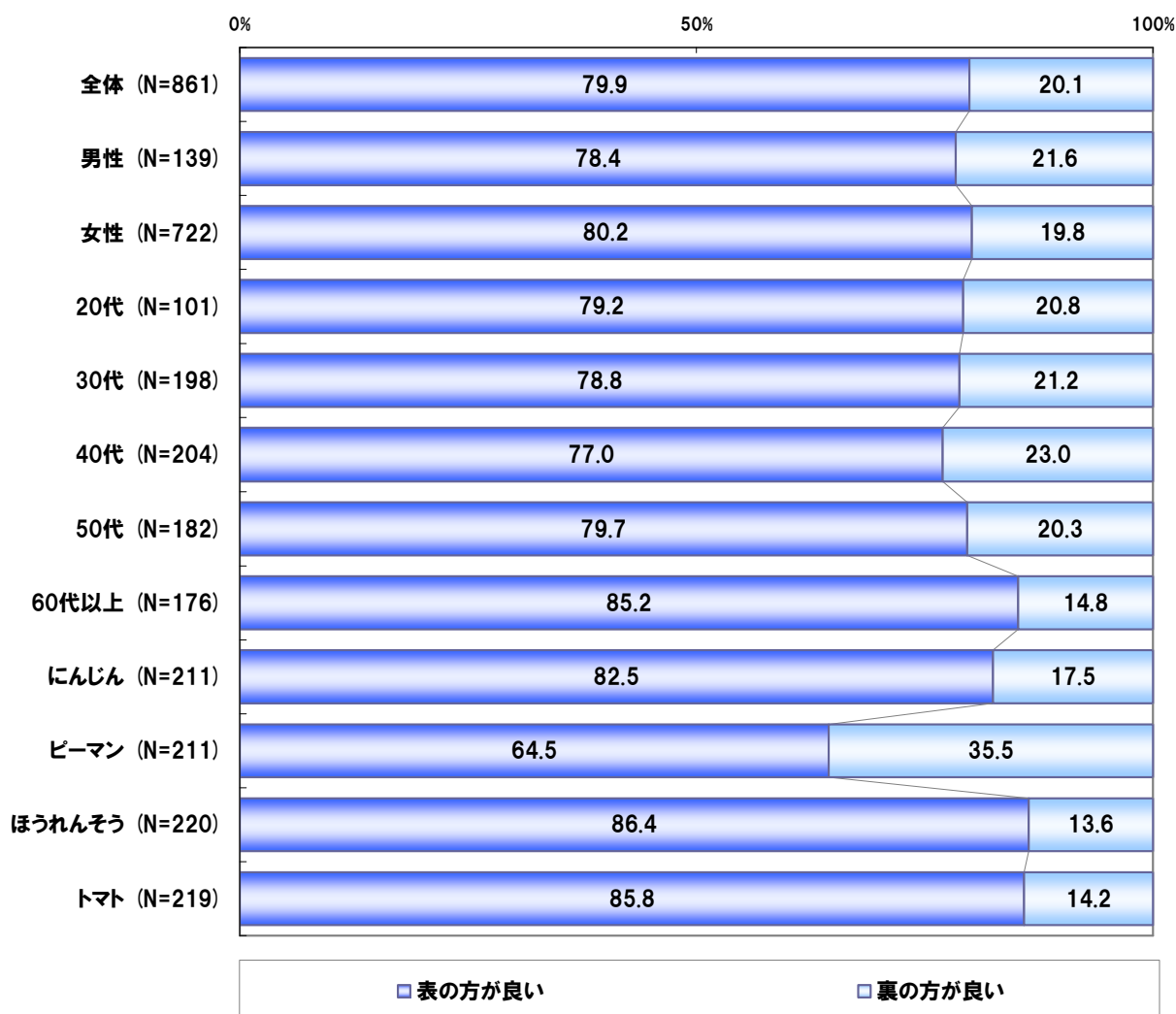
## ②ラベル評価 【貼付位置】

問5. 今回の栄養成分表示をご覧になって、ラベルとPOPについて、何か改善すべきところがありましたら、率直なご意見をお聞かせ下さい。

■ラベルの貼付位置については、「表の方が良い」が79.9%と、「裏の方が良い」20.1%を大きく上回っている。

■性別、年代別に見ても目立った傾向の違いは見受けられない。

■野菜の品目別に見ると、<にんじん><ほうれんそう><トマト>に比べて、<ピーマン>は「裏の方が良い」35.5%が20ポイント程度高くなっている。



### ③ラベル評価 【表示単位（100g単位）】

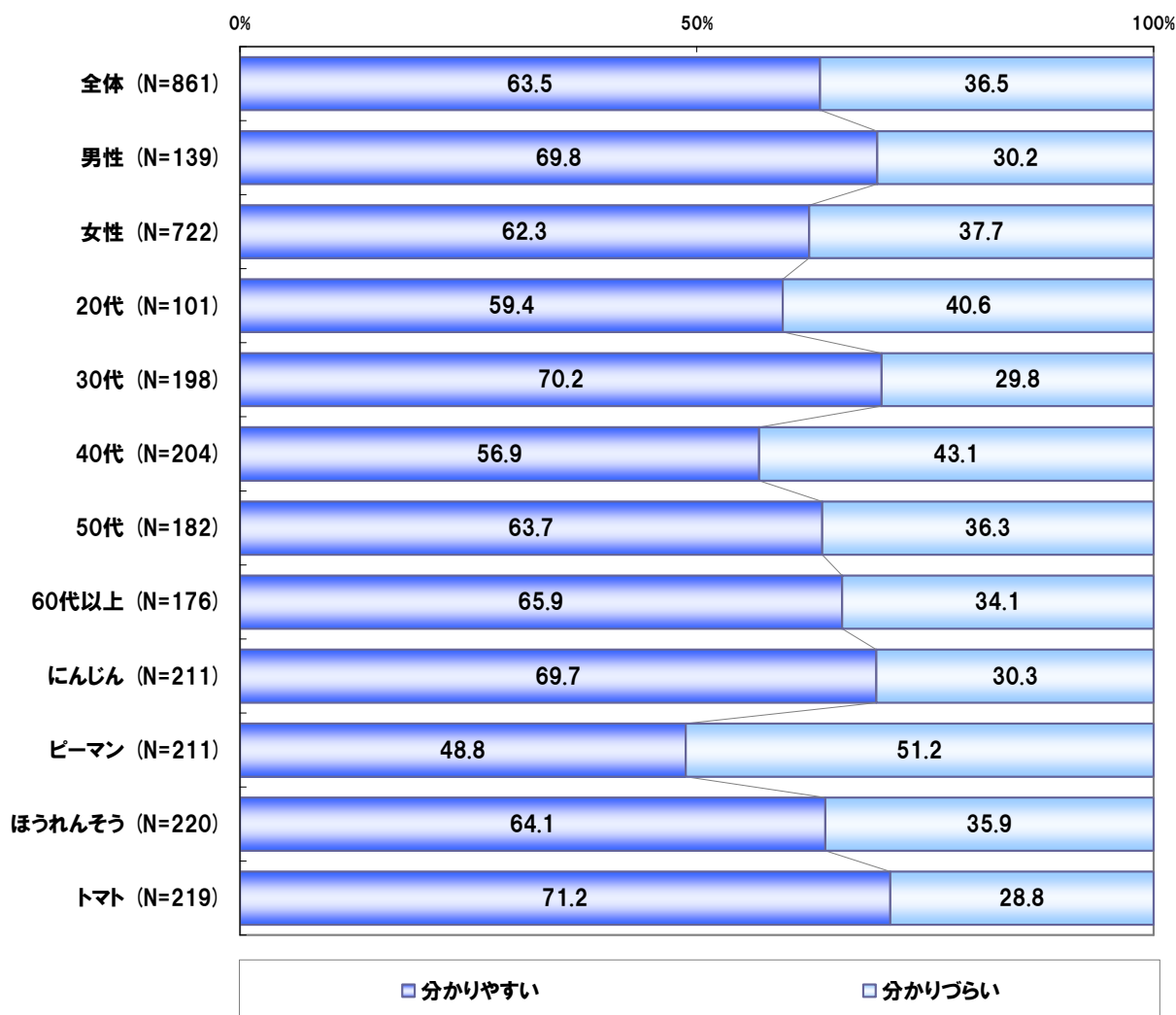
問5. 今回の栄養成分表示をご覧になって、ラベルとPOPについて、何か改善すべきところがありましたら、率直なご意見をお聞かせ下さい。

■ラベルの表示単位については、「分かりやすい」が63.5%に対して、「分かりづらい」との評価が36.5%見られている。

■性別で見ると、＜女性＞で「分かりづらい」37.7%が＜男性＞30.2%に比べてやや高くなっている。

■年代別で見ると、「分かりづらい」との評価は＜20代＞で40.6%、＜40代＞で43.1%と、他の年代に比べてやや高く、4割を超えている。

■野菜の品目別に見ると、＜にんじん＞＜トマト＞は約70%が「分かりやすい」と回答しており、＜ほうれんそう＞は64.1%とそれに比べてやや低く、＜ピーマン＞はさらに下回り48.8%となっている。



## 5) POP (施策) のクリエイティブ評価

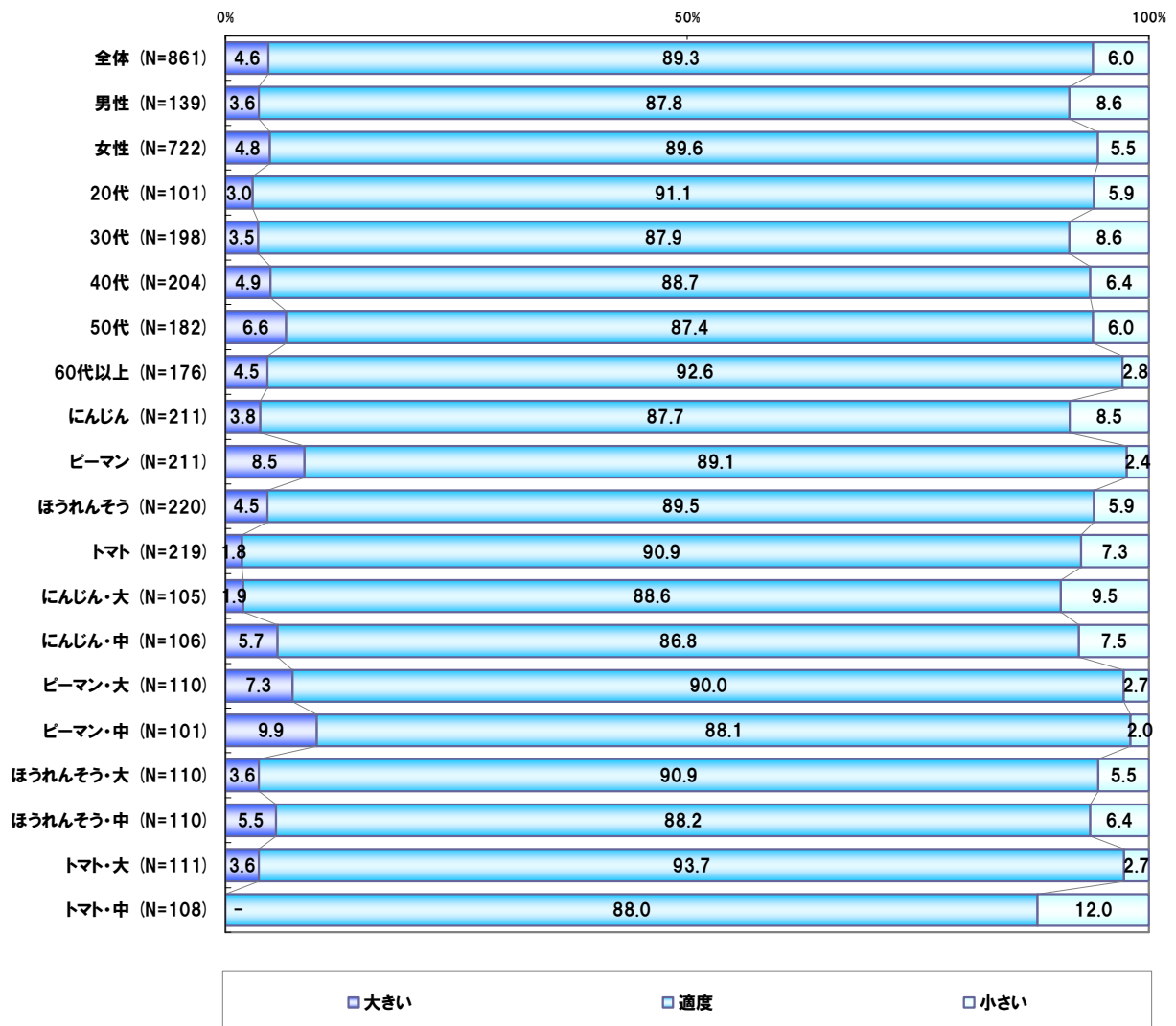
### ①POP評価 【文字の大きさ】

問5. 今回の栄養成分表示をご覧になって、ラベルとPOPについて、何か改善すべきところがありましたら、率直なご意見をお聞かせ下さい。

■POPの文字の大きさについては、「適度」が89.3%と全体の9割弱を占め、「小さい」が6.0%、「大きい」が4.6%となっている。

■性別・年代別で見ても目立った傾向の違いは見受けられない。

■野菜の品目×POPのサイズ別に見ると、<ピーマン>については<ピーマン・大><ピーマン・中>とも、「大きい」が「少ない」を上回っている。(但し全体同様、「適度」が約9割を占める)  
また、<トマト>は<トマト・中>の「適度」88.0%に対して、<トマト・大>が93.7%と高くなっている。



②POP評価【貼付位置】 ※POP 接触者ベース（問3「ラベル・POP 両方見た」「POP だけ見た」回答者）

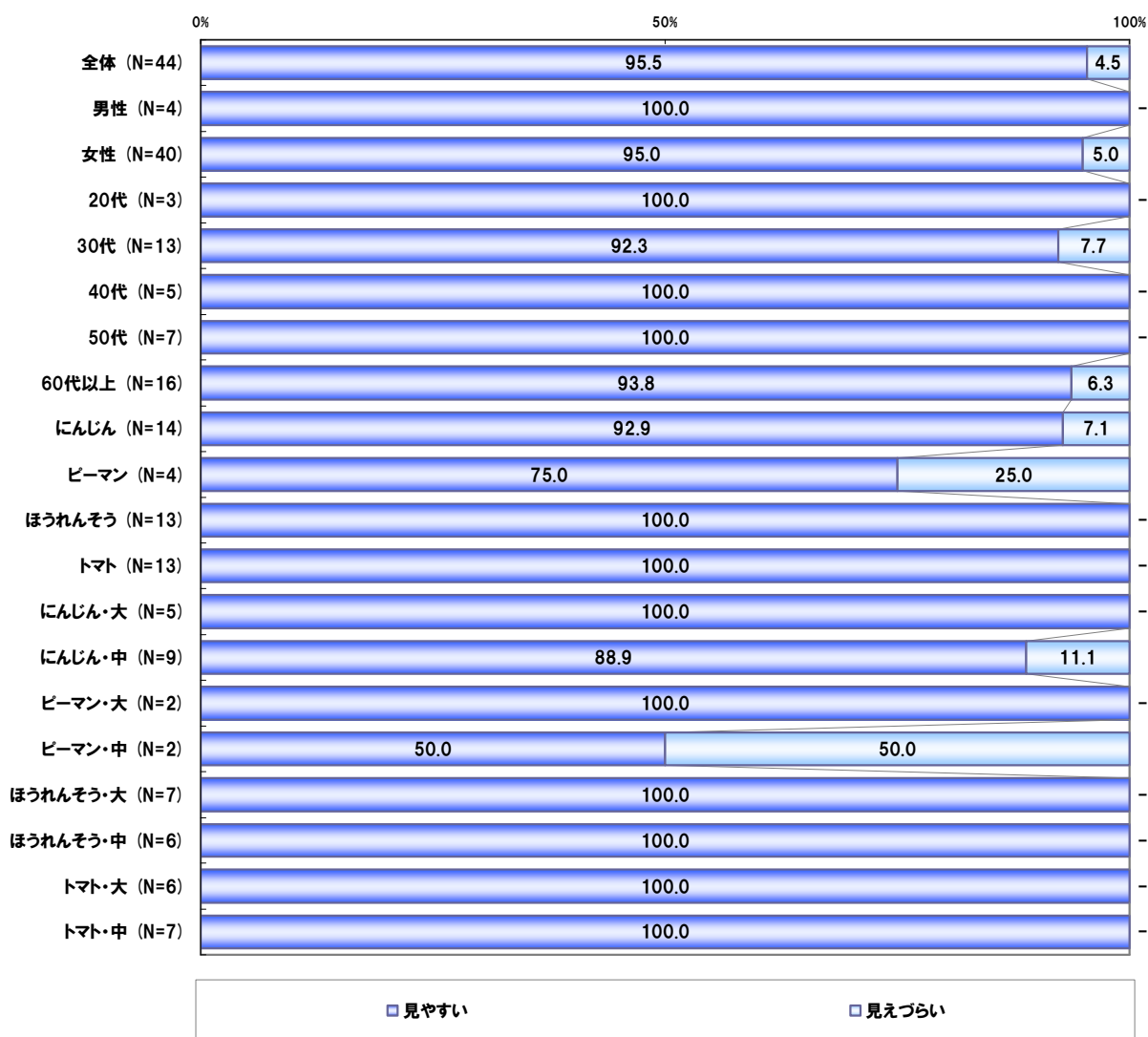
問5. 今回の栄養成分表示をご覧になって、ラベルとPOPについて、何か改善すべきところがありましたら、率直なご意見をお聞かせ下さい。

■POPの貼付位置については、POP接触者の95.5%が「見やすい」と評価している。

■POPの貼付位置について「見づらい」との評価者は、<女性>で2名（5.0%）。年代別では、<30代>と<60代以上>が1名ずつとなっている。

■野菜の品目×POPのサイズ別に見ると、<にんじん・中>と<ピーマン・中>で各1名ずつ「見づらい」と回答している。

※属性別のN数に留意

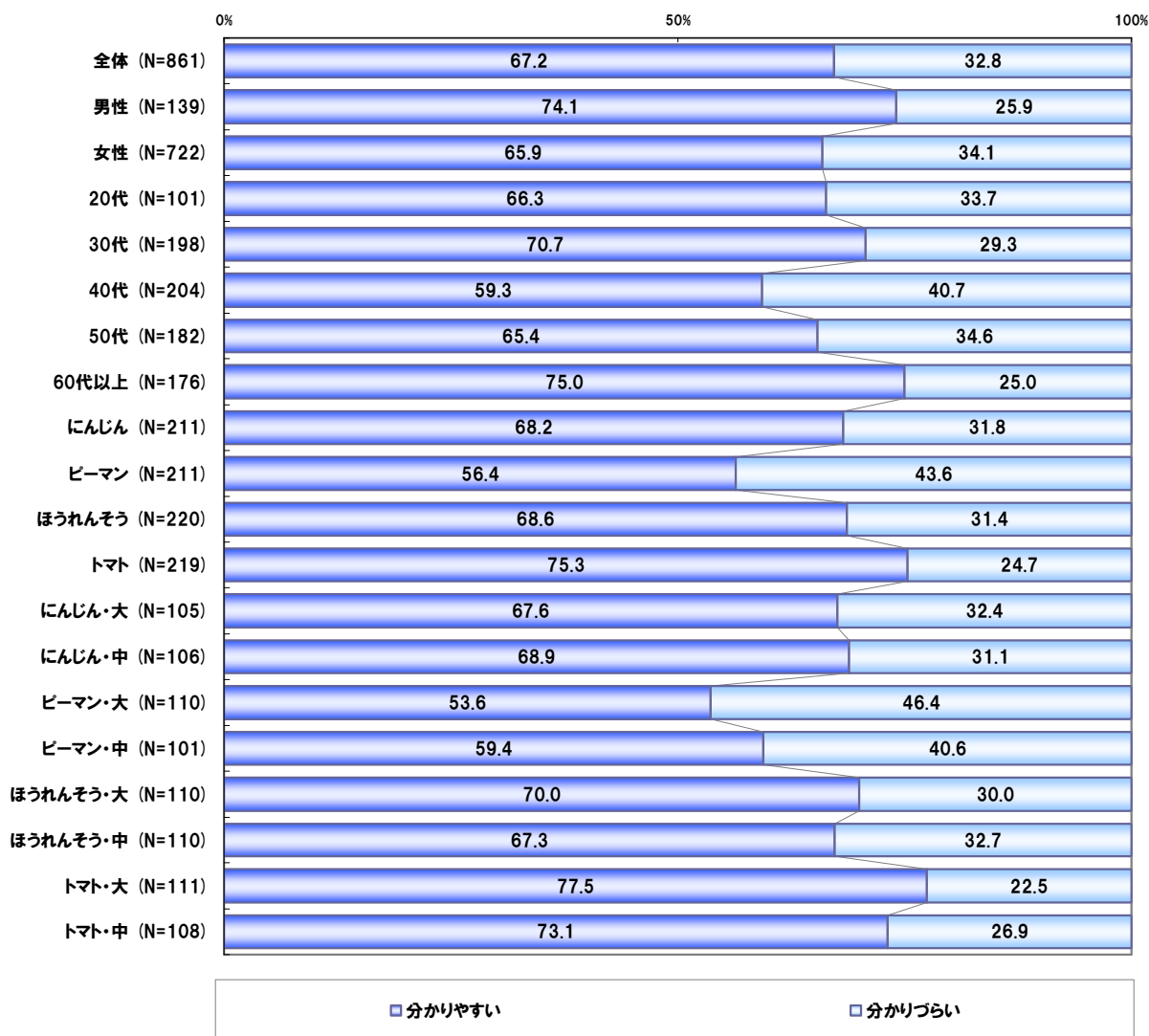




### ③POP評価【表示単位（100g単位）】

問5. 今回の栄養成分表示をご覧になって、ラベルとPOPについて、何か改善すべきところがありましたら、率直なご意見をお聞かせ下さい。

- POPの表示単位については、「分かりやすい」67.2%に対して「分かりづらい」32.8%と、ラベルの表示単位とほぼ同程度の評価となっている。
- 性別で見ると、<女性>で「分かりづらい」34.1%が<男性>25.9%に比べてやや高くなっている。
- 年代別で見ると、「分かりづらい」との評価は<40代>で40.7%と、他の年代に比べてやや高くなっている。
- 野菜の品目×POPのサイズ別に見ると、<ピーマン・大><ピーマン・中>で「分かりづらい」が40%を上回っており、他の品目に比べて低評価となっている。<ピーマン>は<ピーマン・大>の「分かりやすい」53.6%に対して、<ピーマン・中>は59.4%とやや高くなっているが、その他の品目ではサイズによる顕著な違いは見られない。



## 6) 対象者プロフィール

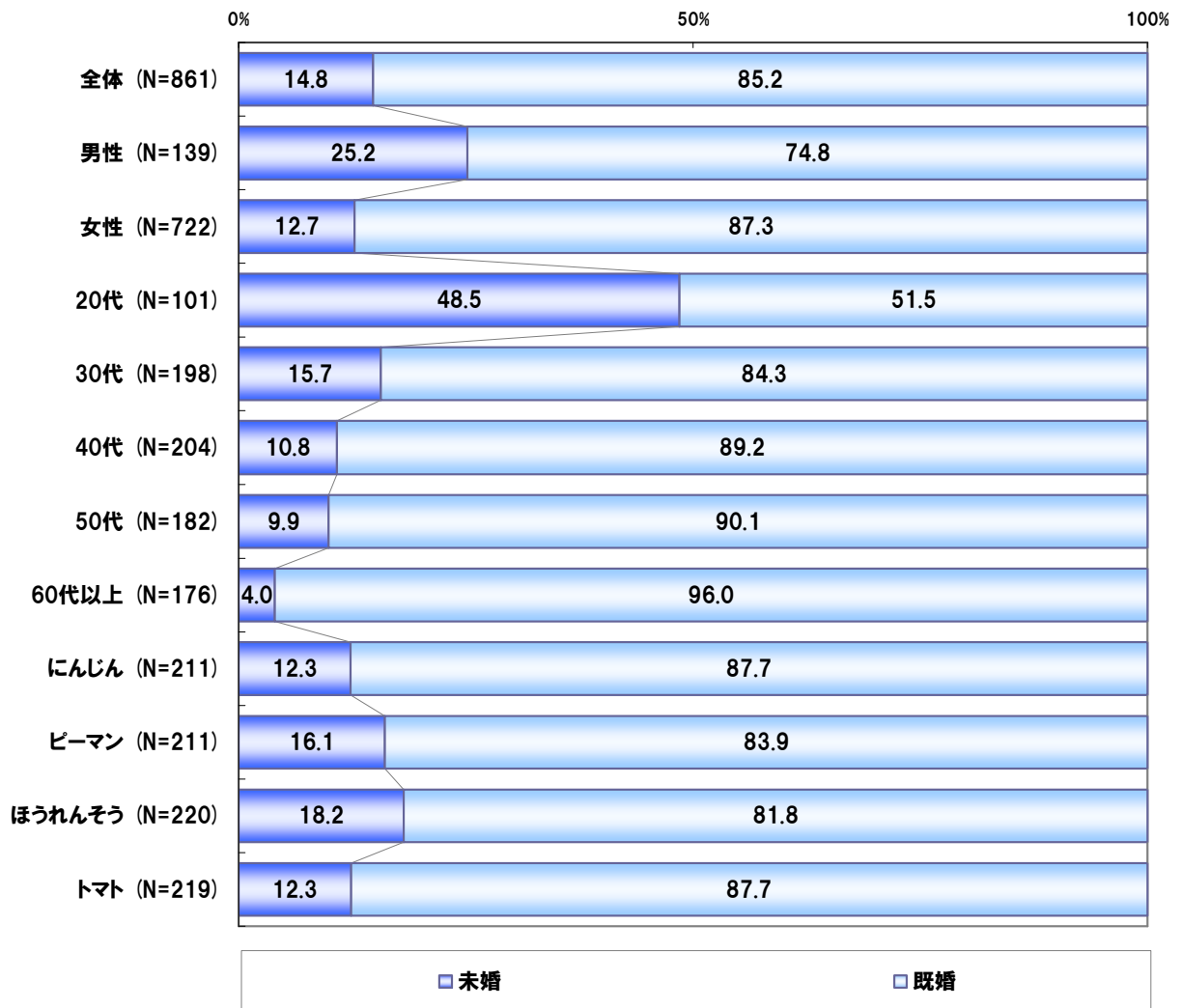
### ①未既婚

■未既婚については、全体では「未婚」14.8%、「既婚」85.2%となっている。

■性別で見ると、<男性>で「未婚」25.2%が<女性>12.7%に比べて高くなっている。

■年代別で見ると、年代が上がるにつれて「既婚」が高くなっている。<20代>では未婚と既婚がほぼ半々の構成であるが、<30代以上>では8割以上が「既婚」となっている。

■野菜の品目別に見ると、<にんじん><トマト>の「未婚」12.3%に比べて、<ほうれんそう>18.2%がやや高くなっている。



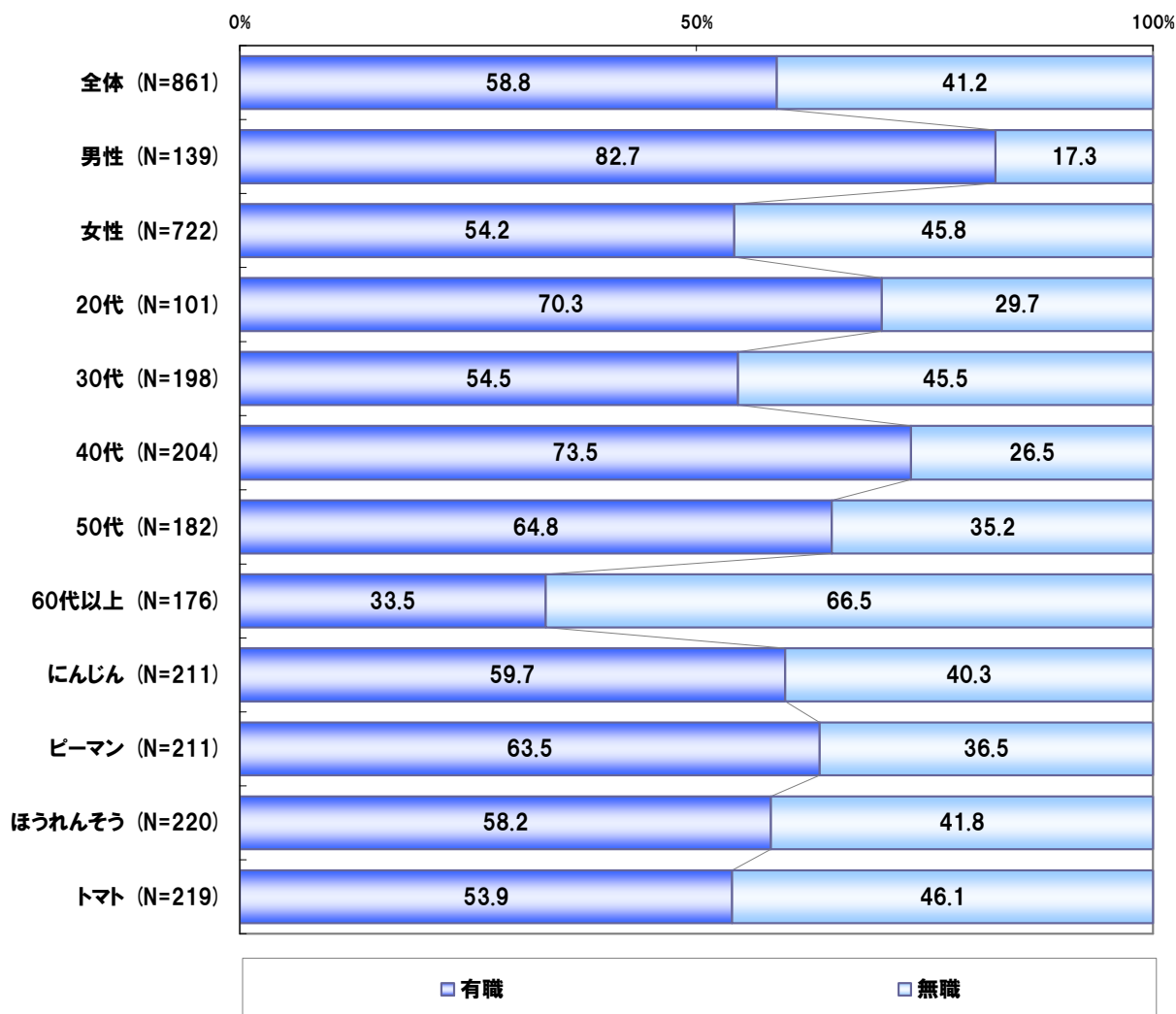
## ②職業

■職業の有無については、全体では「有職」58.8%、「無職」41.2%である。

■性別で見ると、＜男性＞で「有職」が82.7%と、＜女性＞54.2%に比べて高くなっている。

■年代別で見ると、＜20代＞＜40代＞では「有職」が7割以上。＜60代以上＞では「無職」が66.5%を占めている。

■野菜の品目別に見ると、＜トマト＞の「有職」53.9%に比べると、＜にんじん＞＜ピーマン＞＜ほうれんそう＞は60%前後とやや高くなっている。

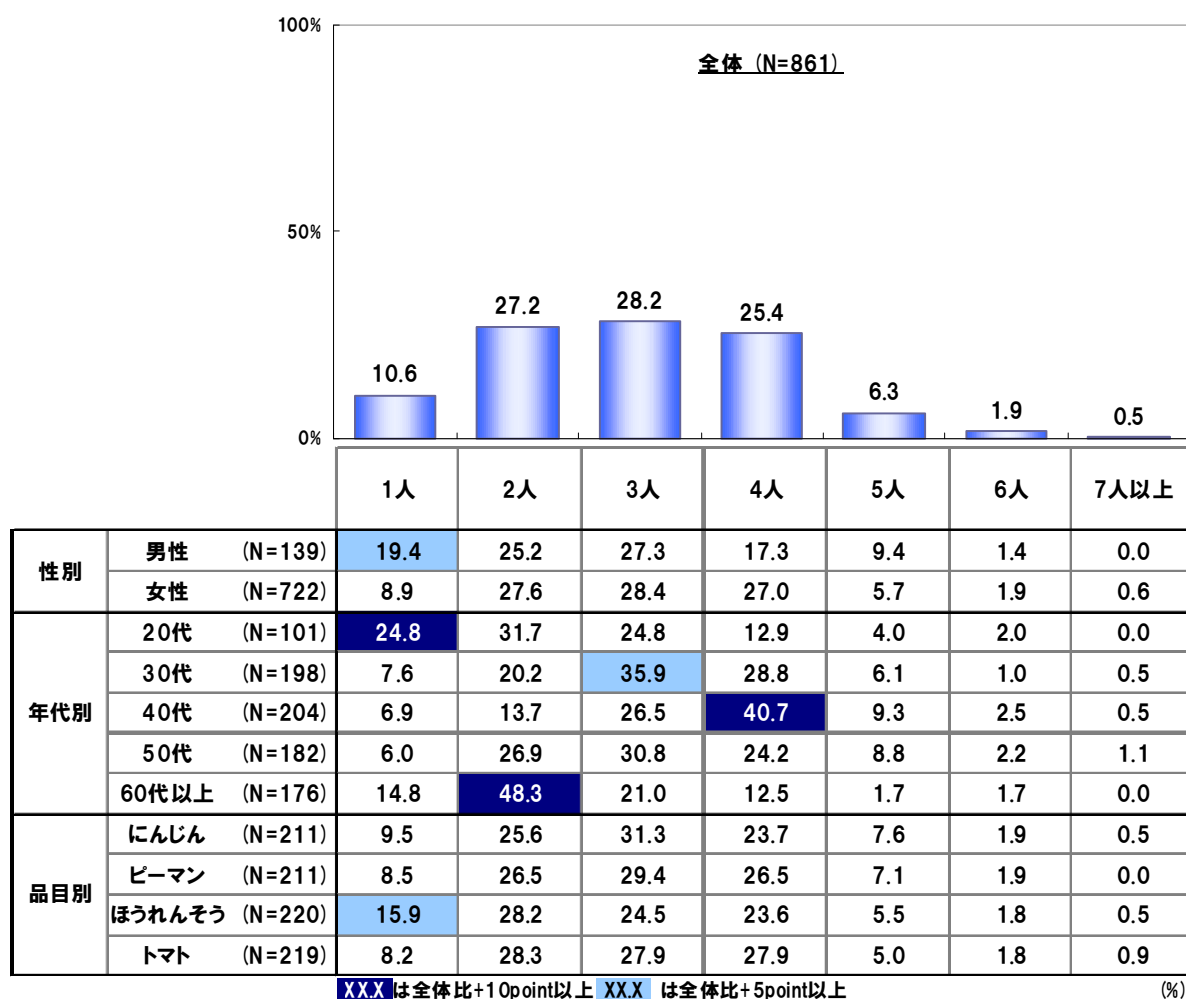


### ③同居家族人数

■同居家族人数（本人含む）は、「1人（単身者）」10.6%、「2人」27.2%、「3人」28.2%、「4人」25.4%、「5人」6.3%、「6人」1.9%、「7人以上」0.5%となっており、概ね「2～4人家族」が中心である。

■年代別で見ると、<20代>で「2人」31.7%、<30代>で「3人」35.9%、<40代>で「4人」40.7%がボリュームゾーンとなっている。一方、<50代>では「3人」30.8%、<60代以上>では「2人」48.3%のボリュームが高くなっている。

■野菜の品目別に見ると、<ほうれんそう>は「1人」が15.9%と他の品目より高くなっている。



#### ④世帯構成

■世帯構成としては、「核家族」58.5%が全体の6割弱と最も多い。以下、「夫婦二人」22.4%、「ひとり暮らし」10.6%、「三世代世帯」5.2%、「二世代世帯」1.4%、「その他」1.9%となっている。

■性別で見ると、<男性>で「ひとり暮らし」19.4%が<女性>8.9%に比べて高くなっている。

■年代別で見ると、<20代>で「ひとり暮らし」24.8%、<60代以上>で「夫婦二人」42.6%が全体に比べて高くなっている。また、<30代><40代>では「核家族」が7割以上を占めている。

■野菜の品目別に見ると、<ほうれんそう>は「核家族」50.9%と他の品目より低くなっている。

